



平成29年 8月23日
四国地方整備局

四国地方整備局入札監視委員会第一部会の 審議概要について

四国地方整備局入札監視委員会の平成29年度総会及び第一部会(第1回定例会議)を下記のとおり開催しました。

総会では委員長の選任と委員長代理の指名及び各委員の部会所属の指名が行われました。(別添名簿のとおり) その後、第一部会の定例会議が開催されました。

審議内容は、四国地方整備局(港湾空港関係は除く)が平成29年1月から平成29年3月までに発注した工事、建設コンサルタント業務等及び役務・物品の中から委員が無作為に抽出した6件の入札・契約手続に関する事項について審議を行いました。

その審議概要は別添のとおりです。

記

開催日 平成29年7月7日(金)
場 所 高松サンポート合同庁舎

問い合わせ先

高松市サンポート3番33号 電話 087-851-8061(代表)

四国地方整備局入札監視委員会事務局

主任監査官 梅 林 利 徳 (内線2114)
契約管理官 山 田 久 男 (内線2222)
技術開発調整官 上 林 正 幸 (内線3120)

別添

四国地方整備局入札監視委員会名簿

委員会役職	氏名	職業	所属部会
委員長 第一部会長	やま なか ひで お 山 中 英 生	徳島大学大学院教授	第一部会
委員長代理 第二部会長	すえ なが よし ひろ 末 永 慶 寛	香川大学教授	第二部会
委員 第二部会長代理	くに むら みのる 國 村 年	公認会計士・税理士	第二部会
委員	いし かわ ち あき 石 川 千 晶	公認会計士	第一部会
委員	かご いけ のぶ ひろ 籠 池 信 宏	弁護士	第一部会
委員	ご そう たか し 五 艘 隆 志	東京都市大学准教授	第一部会
委員	しば た じゅん こ 柴 田 潤 子	香川大学大学院教授	第一部会
委員	とみ いえ さ や か 富 家 佐 也 加	弁護士	第二部会

(委員は50音順:敬称略)

(注)第一部会は、港湾空港関係を除くものについて審議する。

第二部会は、港湾空港関係に係るものについて審議する。

別添

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成29年7月7日(金) 高松サンポート合同庁舎 13階会議室					
委員 (部会委員 5名)	部会長	山中 英生(徳島大学大学院教授)				敬称略
	委員	石川 千晶(公認会計士)				委員は50音順
	委員	籠池 信宏(弁護士)				
	委員	五艘 隆志(東京都市大学准教授)				
	委員	柴田 潤子(香川大学大学院教授)				
審議対象期間	平成29年1月1日～平成29年3月31日契約分					
審議案件	総件数 6件(工事3件、建設コンサルタント業務等2件、役務及び物品1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額 (千円)	入札者数	落札率 (%)
工 事	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	平成28-29年度 アゼチ谷堰堤工事	嶺北建設業 (同)	113,400	1	98.19
	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	平成28-29年度 下ノ村堤防(その2)工事	クロシオ建設 (株)	108,000	1	98.20
	一般競争 (政府調達協 定適用対象 工事以外)	金上野舗装工事	鹿島道路(株)	215,568	6	90.06
建設コン サルタント 業務等	簡易公募型 競争	平成28-29年度 屋島地区電線共同溝詳細設計外 業務	(株)四電技術 コンサルタント	16,524	1	83.52
	簡易公募型 競争	平成28-29年度 土佐管内ラジオ再放送設備設計 業務	(株)四電技術 コンサルタント	27,540	7	81.29
役 務 及び物品	一般競争	凍結防止剤散布車(湿潤式)製造	範多機械(株)	77,004	1	96.35
報告事項	①談合情報等の対応状況 ②再度入札における一位不動状況・低入札の発生状況 ③指名停止状況					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備 考						

1. 抽出案件の審議概要

(1) 一般競争入札(政府調達協定以外)	
意見・質問	回 答
<p>平成28-29年度 アゼチ谷堰堤工事</p> <p>評価点合計が125点満点に対し(当該業者の評価点は)40点である。その結果、加算点が30点というのは1者入札だからということだが、評価点40点というのはすごく低い評価点なのか、そうでもないのか。</p> <p>評価点が低いから失格になるという制度ではないのか。</p> <p>配置予定技術者に経験のある者がいなかったということだが、元請けとして同種工事の経験は満たしていたという理解で良いか。</p> <p>今回、1者しか参加がなかったが、1者でも出てきて良かったという状況であったのか。</p> <p>堰堤工事と管理用道路の工事であるが、堰堤工事を道路工事よりも先に行うのはなぜか。道路工事を後にする理由があったのか。</p> <p>舗装はしてないが、重機が入れるようになっているということか。</p>	<p>低いかどうかの説明は難しいが、3分の1程度の評価点を得点しているということになる。このような得点になったのは、配置予定技術者の評価において同種類似工事の施工実績が加算評価できる実績では無かったため、工事成績評点も0点となり、点数が低くなったためである。</p> <p>点数によって失格となることはない。</p> <p>そうである。</p> <p>今回1者となった原因として、最近高知県の海岸、道路の工事量が増えており、山中の砂防工事の参加者が少なくなった結果ではないかと考えている。</p> <p>道路を舗装まで施工すると、それまで堰堤工事に着手できないため、まず簡易な道路を作り、堰堤の工事を行った後に道路の舗装工事を施工するという施工計画にしている。</p> <p>そうです。</p>

平成28-29年度
下ノ村堤防(その2)工事

評価点が10点となっている。例えば評価点が0点であっても、1者であると加算点は30点になるのか。

類似工事の実績が(課徴金納付命令の)対象案件であったということか。

競争参加資格確認項目のうち、経常建設共同企業体においても全ての構成員は管内に本店を有することとなっているが、管外の構成員が入っていると参加できないということか。

経常JVで、構成員が管外に本店があると参加できないということか。理由はあるのか。1者しか参加していないため、間口が広がるのであればそのような場合でも(参加を認めても)いいのでは。当該工事に求められている経常JVの全ての構成員が管内に本店を有することとは、どのようなケースが考えられるか。

課徴金が課された業者が入っているため、類似工事を加算しないということのようだが、この工事に参加する業者が限定されているということか。類似工事だからといって、まったく関係のない課徴金納付命令のなかった事業者が入ってきた場合、その事業者も加算されないというのは不合理かと考える。このような措置は何年位続けていくか。加算しないという事例は、他にもあるか。

加算はされないが、参加資格としては認定されるということか。

1者になった理由として、県及び市の工事量もあると思うが、高知の工事量が多いということは入札時も認識されていると思うので、例えばD等級やA等級まで入れるということは制度上できないのか。

そのとおりである。評価点が低いということであるが、対象工事が課徴金対象工事であったため、加算評価されていない。施工実績が(高知談合の)課徴金納付命令対象工事であった場合、その工事については加算評価しないこととしている。

そうである。

当事務所管内となると、本店が高知中央部ということになる。

主務になっている者も構成員についても管内に本店を有することが必要である。構成員の管外を認めると、はるか域外からの参加が考えられ、事務所発注であるため、事務所管内に本店のある業者を対象としたいという考えである。入札の動向によっては、広げることは可能である。

今回、クロシオ建設が同種工事として上げてきた工事が課徴金納付命令の対象工事であったため評価していない。仮に他の業者が課徴金納付命令対象外の工事を同種として上げてきた場合には、評価し、点数はつく。クロシオ建設は、それしか同種工事として上げるものが無かったということである。何年間適用するかということについては、課徴金納付命令対象工事はずっと加算の対象にならない。他の事例については、わからない。

評価点には入らないが、参加資格としては認められている。

参加できる業者は17者と想定しており、十分と考えていたが、補正予算のピーク時にあたってしまったため、結果として参加は1者であった。

金上野舗装工事

金上野トンネルの両側の工事を1件としているが、別々にすると、業者等級は変わるか。

分割しても、等級は変わらない。

分けない方が、経済的にいいことがあるのか。

経費的には、分割よりは一括の方がメリットがある。

トンネルの四万十市側にはアクセス道はあるのか。

工事用道路がある。

国道を通過して、もう一方の現場とはつながるといふかたちで、一緒に工事できると判断されたのか。

そうである。

入札価格をみると、どれも近い価格となっているが、このようなことは他にもあるのか。

入札額が調査基準価格に張り付く傾向はどの工事についても多く、このようなことも、同額になるケースもある。

このように20万円ずつ違っているというのはあるのかなと思うが、不思議さは感じていないのか。

特には感じていない。

加算点について、企業は自社の加算点については、ほぼわかっていると考えていいのか。

各社、基礎点については、わかっていると考える。あとは技術者によってどうなるかである。

技術者の点数についても、会社の方はわかっているということか。

計算できる。

他社についてもわかるのか。

他社については、どのような技術者になっているのかわからない。

舗装は積算がしやすいため、近い価格が並ぶのかと観ていたが、評価点についても、ほぼ予測できるという中でギリギリの競争をしているということか。

そう考えている。

(2)簡易公募型競争入札(建設コンサルタント業務等)

意見・質問	回 答
<p>平成28-29年度 屋島地区電線共同溝詳細設計外業務</p> <p>想定参加企業者数が同種11者、類似3者、内2者は同種業者のため計12者とのことだが、どのようなかたちで抽出しているのか。最初に要件を出して、それに合致する会社をまず抽出し、そこから技術者レベルの検討までされるのか。例えば、この会社のこの人は、他の業務をやっているのもつかしいというような所まで調査しているのか。それとも会社レベルでの抽出なのか。</p> <p>技術者が、他の業務を行っているというところまで把握するのはむづかしいのか。</p> <p>同種又は類似業務について、電線共同溝又はキャブに関する(実施又は基本)設計業務となっているが、キャブだけに限ると、かなり少なくなってしまうのか。</p> <p>共同溝は当該業務には入らないのか。</p> <p>電力との調整が、設計の上での重要な技術力になると思われるが、そのようなノウハウが必要なため、このような業務の実績を求めていると考えれば良いか。</p> <p>四国地方整備局に登録されていれば、必ずしも地元業者でなくてもかまわないか。</p> <p>四国内での受注実績となると限られるのか。</p>	<p>会社レベルで抽出した想定参加可能者数である。</p> <p>そうである。 業務は工事と違い、1件について1人の技術者ではなく、1人の技術者は4億10件まで複数の業務を同時に履行できる。</p> <p>キャブの施工は昭和の頃なので、四国の場合はキャブの実績での申請はほとんど無い。都会では共同溝での整備はある。</p> <p>共同溝は対象ではない。電線類が入るものでないと認めない。</p> <p>様々な電線事業者との連絡調整が多いため、調整の実績がある業者としている。</p> <p>四国地方整備局管内に営業拠点があれば参加できる。</p> <p>他事務所では、2者、3者の応募実績はある。</p>

平成28-29年度
土佐管内ラジオ再放送設備設計業務

当該業務の必要性という観点で、このような設備については、いろいろな所で実績があり、類似のものがあるのではないかと考えるが、今回、特別な課題があったのか教えてほしい。
類似のものがあるのであれば、使い回しができ、それほど手間をかけなくて済み、入札価格が下がってくるのか。
土木コンサルには、このような電気通信も含まれるのか。

設置場所について、かなり検討しなければならないということか。

今回、2,500万円程度の設計費であるが、4箇所を設置する費用はどれくらいになるか。

技術評価点の業務理解度について、0点が2者あるが、0点ということは全く理解していないという評価なのか、別の評価軸があり、0点を標準としているのか、どのように理解すれば良いか。

標準が0ということは理解できるが、ものすごくひどいものが出てきた場合、マイナスをつけるとか、失格にするとかはあるのか。

初めての受注者等で、全然条件と違うようなものが出てきた場合、失格になるということもあるのか。

理解度の無い業者について、総合評価の中で失格にできるのか。

土木関係コンサルタントの中に含まれるという分類になっているため、土木関係コンサルタントで発注している。

設計の使い回しができないかということについては、1つ1つのトンネルで、ラジオの電波の入り方、聞こえ方などの条件が違ってくる。高知県の山間では個々に異なるため、他で使ったものを使うということは困難である。工事を実際に発注するための設計なので、箇所箇所現場条件にあった詳細設計をせざるを得ない状況である。

そうである。

延長も違うため一概には言えないが、1つのトンネルあたり数千万規模の工事になる。

業務理解度については、業務の目的、条件の把握、内容の理解度を評価している。仕様書と記載内容があまりかわらないという場合、あたりまえの事しか記載が無い場合は、結果として0点ということになる。基本的には良いことの記載があれば加点していくという発想のため、0点がダメではなく、標準と考えていただきたい。

例えば実績が無いとかであれば、その時点で要件を満たさないため失格となるが、基本的には要件を満たしているため、マイナスや失格とはならない。

評価基準の所に理解度が高い場合に評価することになっているため、0点なので理解していないという事では無い。

明らかに技術提案書の内容が全く業務の内容を得ていないとか、あまりにもひどい状態等、技術提案が適正でない場合は、技術提案書等を無効とし、競争参加を認めていない。

(3) 一般競争(役務・物品)	
意見・質問	回 答
<p>凍結防止剤散布車(湿潤式)製造</p> <p>予定価格の算定は見積であったとのことだが、何者から見積を取ったのか。</p> <p>予定価格算定用の見積額より、応札額は安かったということか。</p> <p>アフターサービス、メンテナンスが大事だと思われるが、その証明はどのように確認されたのか、もう少し踏み込んで、アフターサービスやメンテナンス料込みでの調達は考えていないのか。</p> <p>乾式と湿潤式の散布車は四国に何台あるのか。</p> <p>今回の契約は更新か増強か。</p> <p>乾式と湿潤式の規格選定は、どのように決めたのか。</p> <p>作っている会社がほぼ1社くらいで、他の事務所等に納入実績があると思われるが、納入実績の調査はしているのか。 今回のスノープラウ付きと同様のものを比較しているか。</p>	<p>1者である。</p> <p>そうである。</p> <p>確認方法については、参加者より、四国内での協力会社のメンテナンス契約をしている証明書を提出してもらい確認している。 メンテナンス込みの契約は考えていない。当該車両については、そのようなサービスが無い状況である。</p> <p>現在は乾式1台、湿潤式2台、今年度納入の4台を加えると、乾式が3台と湿潤式が4台となる。</p> <p>更新ではなく、新直轄道路延伸に伴う増強である。</p> <p>湿潤式については、シャーベット状にして凍結防止剤をまくため、風の影響を受ける地域に配備し、乾式については、水を積む必要がなく薬剤を多く積めるため、散布延長の長いところで採用している。</p> <p>納入実績について、全国の整備局の実績調査を行っており、予定価格の妥当性を確認している。同様のものを比較している。</p>

2. 談合情報等の対応状況について

意見・質問	回 答
特になし	

3. 再度入札における一位不動状況(「価格が最低である業者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況)、低入札の発生状況について

意見・質問	回 答
特になし	

4. 指名停止状況について

意見・質問	回 答
特になし	

5. 全体について及びまとめ

(委員長としての取りまとめ及び感想)

今回は、1者応札の案件が4件ありました。これらは、いくつかの要件が重なっているように感じました。元々不調、不落も起きておりますので、その結果として1者が落札するということも起きるであろうということは、想像にたやすい話で、その場合に、価格が妥当なのかということと、その会社が技術的にあるいは能力的に問題がないのかどうかということ。競争がなされていないということで大丈夫かという懸念があるので、いくつか確認をさせていただいた。

それぞれ総合評価の点についても議論させていただいたが、今回については問題があるようなことはなかったと判断させていただいた。

ただ、業者数が減っているとか、能力のある業者が、それほどたくさん居る状態では無くなってきているのが、現状なのだと思っている。そのような中で、どうやって品質を確保しながら、かつ、価格を適正なものにするかということについて、苦勞されているなということは感じましたので、今後とも的確に進めていただきたいというのが感想です。

特に、総合評価の中で、本当に不適格な業者とは契約しないという事もできるということを確認させていただきましたので、そういうことも考えながら総合評価を行っていただければと思い、考えを述べさせていただきました。

1者応札以外の残りの2件については、モデル的というか、完璧に近い形で競争が行われているが、価格差がほとんど無いような所で競争しており、業者にとっては入札の業務に対する負担感というものが出てくるのではという懸念を持っている。各会社が似たような価格で取らざるを得ないという状況に陥ってしまうのではないかと。少し効率化のようなことを考えられないかということが私自身の個人的な感想です。これについては、もう少し、入札の監視という意味ではなく、今後、公共調達を効率的かつ公正にやっていただく中で、工夫をしていただければと感じたところです。

私の委員長として、今回、見させていただいた中で、公正に行われているということは確認させていただいた上での感想については以上です。